

● 経常収支比率

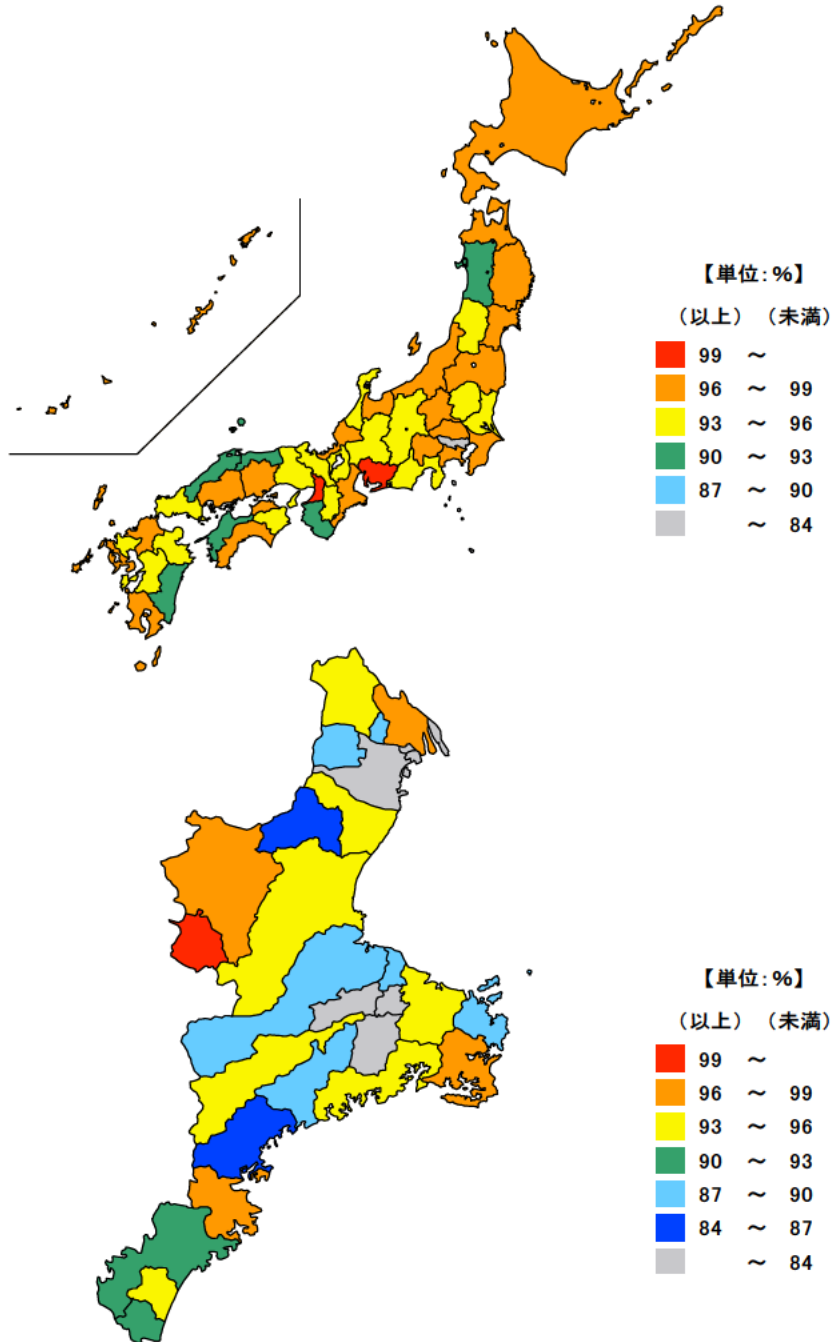
平成29年度

単位：％

都道府県	値	順位
平均	94.2	
大阪府	100.5	1
愛知県	99.1	2
北海道	98.3	3
神奈川県	98.2	4
三重県	98.0	5
秋田県	92.3	43
和歌山県	92.1	44
島根県	91.0	45
愛媛県	90.4	46
東京都	82.2	47

単位：％

市町	値	順位
名張市	99.7	1
桑名市	98.1	2
伊賀市	97.7	3
尾鷲市	96.9	4
志摩市	96.8	5
大台町	95.9	6
いなべ市	95.5	7
御浜町	95.4	8
津市	94.9	9
鈴鹿市	93.9	10
伊勢市	93.1	11
南伊勢町	93.1	11
紀宝町	92.8	13
熊野市	90.7	14
鳥羽市	89.6	15
松阪市	89.1	16
菟野町	87.8	17
明和町	87.5	18
大紀町	87.5	18
東員町	87.1	20
亀山市	86.7	21
紀北町	84.0	22
四日市市	83.7	23
多気町	82.2	24
木曾岬町	80.1	25
度会町	78.5	26
朝日町	76.0	27
玉城町	74.6	28
川越町	68.0	29
市町平均	91.2	



平成29年度の三重県の経常収支比率は98.0%で、全国順位は5位となっています。

県内市町の経常収支比率は、名張市、桑名市、伊賀市の順に高く、特に名張市は100%近くになっています。一方、川越町、玉城町、朝日町、度会町の4町が80%以下と低くなっています。

【資料出所】 全国：総務省「地方公共団体の主要財政指標一覧」

三重県市町：三重県地域連携部市町行財政課「地方財政状況調査に係る各種財政指標」

【算出方法】 経常経費(人件費、扶助費、公債費等)充当一般財源÷(経常一般財源(地方税+普通交付税等)+減収補てん債特例分+臨時財政対策債)×100

【備考】

財政構造の弾力性を判断する指標であり、比率が低いほど弾力性が大きいことを示す。
都道府県の平均及び市町平均は、加重平均による。